

別紙

## 福祉サービス第三者評価の結果

### 1 評価機関

名称：しなの福祉教育総研	所在地：長野県上田市真田町長 6918-1
評価実施期間：令和1年 7月1日から 令和1年 11月 30日 * 契約日から評価結果の確定日 (通常、評価結果報告会日) まで	
評価調査者 (評価調査者養成研修修了者番号を記載) B16023 B16022	

### 2 福祉サービス事業者情報 (令和 1 年 10 月現在)

事業所名：佐久穂町 栄保育園 (施設名)	種別：保育所	
代表者氏名： 佐久穂町 町長 佐々木 勝 (管理者氏名) 園長 小林 浩美	定員 (利用人数)： 150名 (現員 104名)	
設置主体： 佐久穂町 経営主体： 佐久穂町	開設 (指定) 年月日： 昭和 40 年 4 月 1 日	
所在地：〒384-0613 長野県南佐久郡佐久穂町高野町 228		
電話番号：0267-86-2186	FAX 番号：0267-86-2328	
ホームページアドレス：佐久穂町 ホームページ より		
職員数	常勤職員： 19 名 (専門職の名称) 保育士 19 名	非常勤職員 5 名 保育士 4 名 子育て支援員 1 名
施設・設備 の概要	(居室数) 保育室 9 ・乳児室 1 ほふく室 1	(設備等) 遊戯室 1 ・事務室 1 ・便所 8 園外遊技場【園庭】 1 ・調理室 1

### 3 理念・基本方針

<p><b>佐久穂町保育理念</b> 「恵まれた自然環境を生かし、未来の町を担う心豊かな人づくりを目指します」 * 健全な心身の発達を図り、生きる力の基礎を培います。 * 家庭や地域社会と連携を図り、共に子育てをします。</p> <p><b>保育方針</b> ・子どもの思いを温かく受け入れ、意欲的に活動しようとする気持ちが持てるようにする。 ・子どもを中心に捉え、家庭と密に連携し、安心して子育てが出来るようにする。</p> <p><b>保育目標</b> ◎元気で明るい子ども ◆挨拶のできる子ども ◆仲良く遊べる子ども ◆食べることを楽しむ子ども</p>
---

## 4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

### 【佐久穂町の特徴】

- 佐久穂町は、長野県南佐久郡に平成17年佐久町と八千穂村が合併した、自然豊かな町です。町には、日本一の白樺林を擁する「八千穂高原」、珍しい苔の森を擁する「白駒池」、NHKの外国放送受信施設等があります。
- 佐久穂町は、教育・文化・農業・観光に力を入れ、町の発展に力を注がれていました。特に教育面では、「次世代教育支援行動計画」を策定し、平成27年より小学校中学校を同一地所に開校統合小中学校として、小中一貫教育を行う等、次世代を担う子どもたちやその保護者を支援するため、また少子化の進行を抑制する為の施策を展開されていました。

### 【子ども・子育て支援計画】

- 第1章には、「基本的な考え方」第2章「佐久穂町の現状」、第3章「計画の基本理念と基本目標」、第4章「基本目標ごとの施策展開」第5章「教育・保育・子育て支援事業の量の見込み等」第6章「計画の推進に向けて」の章ごとに分析され解り易く、表や数値化を図り町民の理解を得ていました。

### 【佐久穂栄保育園の特徴】

- 保育園は、茂来山を始め山々に囲まれ自然豊かな環境の中、未来を担う心豊かな人づくりを目指していました。健全な心身の発達を図り生きる力の基礎を培っていました。
- 佐久穂町保育目標は、「元気で明るい子ども」その下に「挨拶のできる子ども、仲良く遊べる子ども、食べることを楽しむ子ども」の三項目があり、それは、
  - ・各種交流会（未就園児・お年寄りの方・異年齢）を通して、思いやりの心を深める
  - ・豊かな自然の中で様々な遊びを経験し、情緒豊かな心を培う、
  - ・地域の方との交流や園生活の中で、気持ちよく挨拶をする。
  - ・友達との関わりを深め、思いやりや優しさを持てるようにする。
  - ・運動遊びを多く取り入れ、心と体の発達を促す。
  - ・食事のマナー、野菜作りをなどして、食の大切さを知らせていく。など、重点的な活動が示されています。
- 園舎は、木材がふんだんに使われ、木の温かみが感じられ、広い廊下や室内環境が整備されています。
- 遊戯室は、木材をふんだんに使用し、温かみのある広い空間となっており、雨天時でも子どもたちが伸び伸び活動でき、また発表会や参観日の講演会などに活用されています。
- 広い園庭は、安全管理された遊具が設置されていました。園庭の片隅には、畑もあり園児たちが、ポップコーン、枝豆、落花生、キュウリ、トマト、じゃがいも等いろんな野菜を育て収穫体験もでき、調理体験も行われています。
- 園の目の前には、近所の農家さんの協力を得ながら年長組の米作りが行われ、案山子作りなど楽しみながら「食育」に力を入れています。

## 5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）	初回
---------------	----

## 6 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

### ◇特に良いと思う点

#### 1、子どもたちが伸び伸び活動できる、保育環境に恵まれていました。

- 園の屋根軒下に鳥の巣箱を設置して、スズメやツバメの巣作りを見るなど、園周辺の自然に親しんだ保育を計画して活動していました。県から、やまほいくの認定も受け、より自然に親しんだ保育に向けて、職員が一丸となって取り組む様子が伺えました。
- 園舎は、天井も高く廊下も広々し、自然の光が差し込む明るい空間が提供され、特に廊下は、多目的に活用され、子どもが自分たちで考え伸び伸び遊べる空間が提供されていました。
- 佐久穂町では、危険遊具の検討を三か所の保育園で行い、園庭には、安全管理された遊具が多く設置されていました。
- 夏には、三歳以上児のプールも設置され、日よけやお湯の出るシャワーの設備もありました。
- 子どもの伸び伸びした活動や行事は、保護者にわかるように掲示板で紹介されていました。
- 意欲を引き出す「待つ」保育が生まれる環境が整っていました。

#### 2、適切な保育サービスを提供する組織としての取り組みがされていました。

- 町の方針が運営管理職や一般職員に理解周知されている事が、自己評価調査で確認され、前向きに取り組み気付きの保育がされているコメントが、多数認められました。
- 職員の聞き取り調査でも、お互い協力され質の高い保育に取り組まれている事が聴き取れました。
- 保護者からも、「子どもが明るく元気に過ごせている、先生達からやさしく接してもらえている」等、アンケートのコメントで確認できました。

#### 3、町全体で子育て支援に力を入れていました。

- 保育園の行事や園だよりは、町の広報紙に記載され、保育園の様子が、町民に周知され地域で子育てが取り組まれていました。
- 栄保育園では、園庭での野菜作りや、近所の方の支援で年長さんが米作りをしていました。粃まきや田植え、稲刈り、米の収穫、「十日夜」のお祭りでは、お餅つきをして、案山子にお礼をする行事の様子がネットで公開されていました。
- 今年度から、給食・おやつは、業者委託に成りましたが、「給食便り」「楽しく食べよう」、「給食試食会レシピ」「試食会アンケート」が配布され、子どもたちにも楽しくわかり易い物になっていました。
- 年間行事予定には、多くの地域ボランティアの記載があり交流がされていました。

#### 4、町こども課では、オンリーワン支援事業が行われていました。

- 発達障害など「困り感のある子」の保育について、二次的な問題が起こりやすい為、その予防に向けた取り組みとして、早期療育、環境調整に効果があるとされていました。保育園と家庭との共通理解・認識を深めるため、保護者への保育相談を実施されていました。
- オンリーワン支援事業は、年2回行われ支援チームが各園を巡回して、園児の観察を行い、対象園児の状況を保育士と共通理解し、支援の方法を検討し保育に活かせる

る取り組みがされてきました。

- オンリーワン支援チームは、多くの専門職が関わり支援の体制が整えられていました。

#### 5、虐待、人権侵害の取り組みがされてきました。

- 虐待、人権侵害の研修は、長野県市町村児童虐待対応マニュアルに基づき整備され、職員間でも周知されてきました。
- 家庭での虐待の調査も周知され、子どもの体の気付き、目の動き、異常な食欲等普段との違いに積極的に気付くよう心がける、取り組みをしていました。

#### ◇特に改善する必要があると思う点

##### 1、期待される職員像の明文化を期待します。

- 人事評価制度や目標管理制度は、理念や目標達成する為の全体目標やチーム、職員一人ひとりの目標の統合をめざす仕組みです。期待される職員像の明文化をお願い致します。また来年度から非正職員の個人面談も行なわれると園長より聞いています。非正職員にも期待がもてる職場づくりを望みます。

##### 2、実習指導のマニュアル化の記載を期待します。

- 保育実習生の受け入れを積極的に行い保育士の育成に取り組まれていました。指導も主任保育士を中心に行われていましたが、実習生・職員にも明確な指導マニュアルが策定され指導にあたられる事を希望致します。

#### 7 事業評価の結果（詳細）と講評

- ・別添1
- ・別添2

#### 8 利用者調査の結果

アンケート方式の場合（別添3-1）

#### 9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添4）